平成２９年度事業報告

私たちが暮らす地域では、介護や子育ての問題、社会的孤立者や、生活困窮者の増加など、様々な問題が顕在化してきています。これらの生活全般に及ぶ福祉課題に対応していくために藤沢市では、全ての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「藤沢型地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みが進められる中、本協議会も「第３次藤沢市地域福祉活動計画」のもと、藤沢市と協働した助け合い支えあいの地域づくりに向け、次の重点目標と各種実施事業に取り組みました。

《 重 点 目 標 》

１．地域福祉事業の推進

（１）コミュニティソーシャルワーカー（CSW）による個別支援と支えあいの地域づくり

昨年度の３地区に加え、新たに長後・村岡の２地区にCSWを配置し、生活課題を抱える方の個別支援と、地域の多様な活動主体と連携した地域づくりに向け、各種地域団体や関係機関との関係づくりや活動支援に取り組んだ。また、総合的な相談支援体制として、生活困窮者自立相談窓口「バックアップふじさわ社協」を中心に、組織内外の相談関係窓口等と連携した相談支援を実施した。

＜CSWによる相談実績＞

【実相談件数】　464件

＜バックアップふじさわ社協による相談実績＞

【実相談件数】　138件

＜地域活動団体との関係づくりや活動支援の実績＞

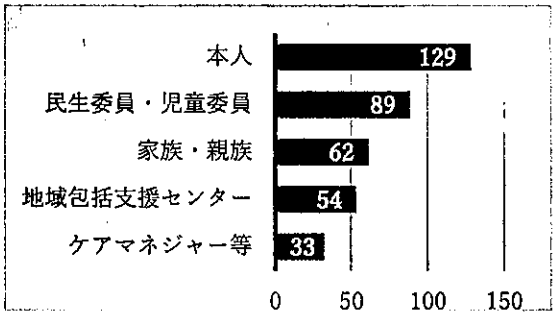
【地域活動等への参加】　597回

【研修・勉強会等への参加】　597回

［地区別相談件数］

鵠沼	112件
六会	63件
湘南大庭	157件
長後	80件
村岡	113件

［主な相談ルート］



（2）社会参加支援事業[試行事業]（新規）

CSW の活動を通して、引きこもりや生活困窮者等、地域で孤立しがちな方を対象に、ボランティア活動や就業体験など社会参加のきっかけづくりの場を提供した。

実利用人数	16 人
10 代	1 人
20 代	6 人
30 代	4 人
40 代	3 人
50 代	2 人

※男 9 名 ／ 女 7 名

＜活動場所＞
自宅、社協会議室、社協売店
社協みんなの部屋
ボランティア先、民間施設 等

＜活動内容＞
啓発ティッシュづくり、資料修正
パソコン作業、花売店店員
音楽活動、絵画・写真活動
リユースボランティア 等

（3）生活支援サービス体制の整備

生活支援コーディネーター（第 1 層）と CSW、地域支援の担当者等が連携し、ボランティア、NPO、事業所、社会福祉法人などの多様な事業主体とのネットワークの構築や、各地域における様々な社会資源を把握し、生活支援サービスの提供体制の整備に取り組んだ。

＜地域活動関係者による意見交換の様子＞

（4）地域の縁側事業

市内の地域活動団体が運営する交流サロン（約 130 カ所）の実態把握や運営支援等を行う中で、藤沢市が推進している「地域の縁側事業」について、市と協働で実施団体への運営支援等を実施した。

【地域の縁側開所数実績】

区　分	基幹型	基本型	特定型	合計
29 年度末開所数	4 カ所	20 カ所	9 カ所	33 カ所
新規開所数	1 カ所	3 カ所	5 カ所	9 カ所

運営団体別内訳

地域住民・地域団体	18 団体
法人（社福・NPO）	15 団体

藤沢市 ふじさわし
地域の縁側 ちいきのえんがわ

拠点別内訳

地区ボランティアセンター	5 カ所
市民の家・自治会館等	8 カ所
自宅開放	3 カ所
空き家活用	1 か所
マクドナルド（六会）	1 か所
法人事業拠点	12 カ所
地域ささえあいセンター	3 カ所

2．人材育成の推進

ボランティア養成講座など地域活動の担い手づくりや、介護職員初任者研修など専門性の高い福祉人材の養成に取り組んだ。

（1）地域の担い手づくり

「ボランティア養成講座」「精神保健ボランティア講座」の開催や、「ボランティアコーディネーター講座」を開催し地域活動の担い手づくりに取り組んだ。また、小学生を対象とした福祉体験教室の開催や、小・中学校等の福祉教育の場に職員が出向き「車イス」や「高齢者疑似体験セット」を活用した体験学習を行うなど、福祉教育の推進を図った。

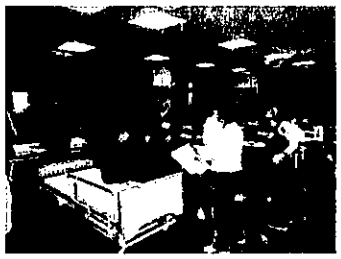
＜ボランティア養成講座＞

【開催日】10月28日　【場　所】藤沢商工会館　【受講者数】21人
【講　師】田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科　和 秀俊氏
◇活動紹介団体：藤沢市点訳奉仕会、丸山谷戸援農クラブ、
日本語で心をつなぐ会、NPOサポーターズ　6名
◇学生ボランティアの協力 5名（湘南高校定時制・藤沢西高校）

（2）福祉人材の養成

市内の社会福祉法人との協働で介護職員初任者研修を実施した。受講生のうち、児童養護施設の入退所者や生活困窮者については、受講料を免除し、資格取得の促進を図った。また、介護予防・生活支援サービスの担い手の養成に、ふじさわ福祉NPO法人連絡会の一員として取り組んだ。

＜介護職員初任者研修＞



【期　間】9月3日～3月4日　全23日
【場　所】市社協会議室他　※実習は市内福祉施設等で実施
【受講料】30,000円
【受講者数】17人（うち受講料免除対象者3人）
協力法人　・高齢分野の社会福祉法人　10団体
・障がい分野の社会福祉法人 5団体
※子育て中の方が参加できるよう一時保育を実施

3．地域福祉権利擁護の推進

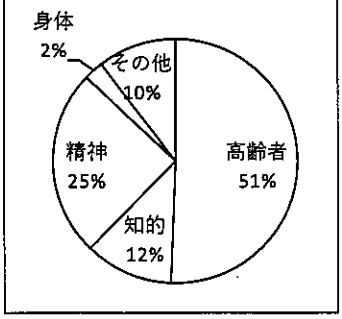
成年後見制度の普及啓発、法人後見事業と日常生活自立支援事業の一体的実施、市民後見人の支援等、地域福祉権利擁護の推進を図った。

（1）日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者などで判断能力が不十分な人を対象に契約により、「福祉サービスの利用援助」「日常的金銭管理」「書類等預かり」のサービスを提供した。

29年度末の契約者数：77人（延契約件数：104件）

＜契約者の対象別割合＞



（2）成年後見事業

成年後見制度の普及啓発や利用支援、地域関係機関との連携による権利擁護ネットワーク連絡会の開催の他、法人後見業務に取り組んだ。

29年度新規相談件数 201件
内訳　法定後見　170件
　　任意後見　31件

法人後見受任件数12件

市民講座の開催　年２回開催

●第１回:11月18日・鵠沼市民センター

●第２回：２月24日・長後市民センター

●参加者数　第１回：57人/第２回：53人

（3）市民後見事業

後見制度を支える地域の担い手として、市民後見人養成研修を修了した方の活動支援と市民後見人候補者バンクの運営を行った。

29年度実績
登録者数　7人
受任件数　3件
終了件数　1件

（4）権利擁護支援事業（新規）

成年後見制度の申立てが必要な状況であるにもかかわらず、さまざまな理由から成年後見開始の審判について家庭裁判所に申立てることが困難な方へ、申立て手続きに関する支援及び費用の助成に向けた新たな制度を開始し、権利擁護ネットワーク連絡会の委員を通じて事業の周知を図った。

4．障がい福祉サービス事業・在宅福祉事業等への取り組み

市内の体制が充足していない障がい福祉サービス事業（ホームヘルプサービスやサービス利用計画の作成など）に重点的に取り組んだ。また、新たな介護予防・日常生活支援総合事業への取り組みを始めた。

【障がい者総合支援事業】

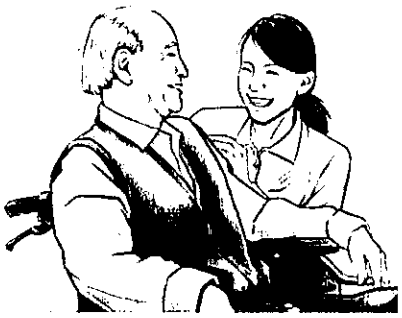
障害者総合支援法に基づく居宅介護等事業を実施した。

①居宅介護等事業・重度訪問介護事業・同行訪問事業

実利用者数	191人
派遣回数（延）	14,619回

②相談支援事業

実利用者数	85人
調査件数（延）	42人



挿絵協力「サナエ」

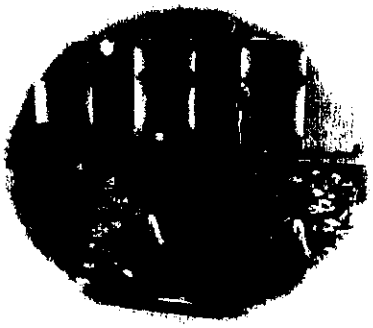
5．いきいきシニアセンター（藤沢市老人福祉センター）の運営

地域共生社会の実現に向けた地域福祉推進の拠点施設として、ボランティア相談窓口の開設や藤沢市が進める「健康寿命日本一」に向け各種健康講座の開催などに努めた。また、効率的な施設運営に向けた取り組みとして、新電力会社への切り替えによる電気料金の節減や、浴槽水の再利用など、施設設備の省エネ化を図った。

（1）やすらぎ荘・湘南なぎさ荘・こぶし荘の管理運営

①３センターの利用者数

区　　分	平成 29 年度実績
やすらぎ荘	72,938 人
湘南なぎさ荘	89,699 人
こぶし荘	136,003 人
合　　計	298,640 人



②健康講座等の事業回数・参加者数

区　　分	平成 29 年度実績
やすらぎ荘	141 回／ 5,744 人
湘南なぎさ荘	303 回／ 9,195 人
こぶし荘	214 回／12,149 人
合　　計	658 回／27,088 人

③いきいきミニマルシェの開催

やすらぎ荘　　毎月１回開催（野菜の販売）

湘南なぎさ荘　毎月２回開催（パン、手作り食品販売）

こぶし荘　　毎月２回開催（野菜、パンの販売）

（2）藤沢市老人福祉センターの指定管理者への取り組み

次の６つの基本方針のもと管理運営計画を藤沢市に申請し、平成 30 年度から平成 34 年度までの５年間の指定管理者として指定を受ける。

＜基本方針の概要＞

①適正な施設管理と利用者の視点に立った運営　②「健康寿命日本一」を推進するための健康増進に向けた事業展開　③地域共生社会の実現に向けて、様々な市民が参加・活用できる施設機能の充実　④東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成　⑤災害時における避難所運営の体制確保　⑥効率的な施設運営と利用者への還元

6．社会福祉法人制度改革に関する取り組み（新規）

地域における公益的な活動の推進等、社会福祉法人制度改革に関する取り組みを行った。

（1）藤沢市地域公益事業推進法人協議会

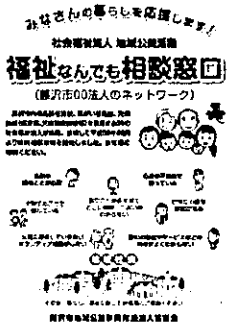
市内の社会福祉法人が、社会福祉法人の責務とされる「地域の公益的な取り組み」を連携・協働して進めて行くための協議体（藤沢市地域公益事業推進法人協議会）の設立に向けて、市社協が「準備会」「検討会」の事務局となり開催の支援をした。

【準備会】

第1回（8月10日）　法人協議会の枠組みについて
第2回（9月21日）　法人協議会の枠組みについて
第3回（10月19日）　法人協議会要綱について

【検討会】

第1回（12月21日）　具体的取り組み事業について
第2回（1月18日）　相談支援事業の枠組みについて
第3回（2月22日）　相談支援ネットワークについて



（2）民間企業との連携事業

①アズビル山武財団「あすなろフレンドシップ就学支援制度」との連携

経済的支援が必要なひとり親世帯の子どもの就学支援等を目的とする、アズビル山武財団「あすなろフレンドシップ就学支援制度」の実施にあたり、同財団、藤沢市、市社協の三者が連携に関する協定を締結し、市社協が支援金申請の相談・受付事務を担い制度の運営支援を行った。

【対　象】　藤沢市在住で児童扶養手当の全額給付認定者
　　※生活保護受給世帯は除く
【実　績】　平成30年4月に高校進学又は就職　5万円・81件
　　平成30年4月に中学校進学　　3万円・73件

②農福連携事業

JAさがみわいわい市藤沢店の協力により、地元農家から提供された野菜などの食材を、市内の子ども食堂や地域の縁側、若者を支援する活動団体等の支援の一環として提供した。

・月2～3回提供　　・提供先　9団体

③ノジマからの寄贈品

藤沢市を通じて、株式会社ノジマより寄贈を受けた冷蔵庫や電子レンジ、オーブントースター等、家電製品503点を、児童養護施設を退所して自立生活を始める若者や生活困窮家庭等に提供し、生活の自立や再建の支援を図った。

（3）支えあう地域づくり推進連絡会

地域福祉の関係者が連携し地域福祉の推進に向けて、情報の共有や意見交換を行う連絡会の事務局として会の運営を担った。設立初年度は、参加団体が互いの団体プロフィールや活動課題等についての情報交換を行った。

【開催日】12 月 26 日

＜連絡会の構成団体＞

藤沢市地区社会福祉協議会連絡協議会、藤沢市民生委員児童委員協議会、県高齢者福祉施設協議会藤沢地区福祉施設連絡会、藤沢障害福祉法人協議会、藤沢市民間保育園設置法人代表者会、藤沢地区保護司会、藤沢市更生保護女性会、藤沢市老人クラブ連合会、藤沢市福祉団体連絡会、藤沢市青少年育成協力会、藤沢災害救援ボランティアネットワーク、藤沢市内ボランティアセンター連絡会、藤沢市介護保険事業所連絡会、藤沢市居宅介護支援事業所連絡協議会、藤沢市障がい者日中活動支援事業所連絡会、藤沢市社会福祉協議会、藤沢市（地域包括ケアシステム推進室・福祉健康総務課）　17 団体

挿絵協力「サナエ」

《実　施　事　業》

1．地域福祉推進事業

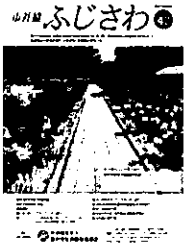
市社協が進める地域福祉事業への理解と参加・協力を求めるために、機関紙やホームページによる周知や社会福祉大会等の行事による啓発事業を実施した。

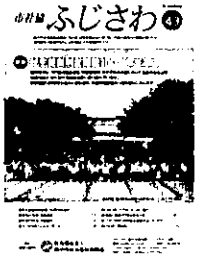
（1）機関紙「市社協ふじさわ」の発行

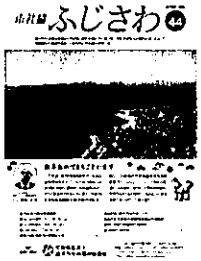
市民や関係機関等に、市社協への理解と協力を頂くために機関紙を発行し、事業周知や福祉情報の提供と賛助会員募集を行った。

号数	発行月	主　な　内　容
第 42 号	5 月	平成 29 年度の事業計画・予算の概要
第 43 号	9 月	平成 28 年度の事業報告・決算の概要
第 44 号	1 月	各部署の事業紹介

※発行部数　各号 9,000 部







（2）市社協ホームページによる福祉情報の提供

ホームページを通じ、本協議会が進める各種事業や講座・研修・イベント等、各種情報の提供と併せて、事業計画・予算や事業報告・決算、財務諸表や法人組織の現況報告等、組織の運営に関する情報公開を行った。

（3）第４９回藤沢市社会福祉大会（市共催事業）

市民に向け地域福祉への協力と理解を深める機会として、藤沢市と共催による社会福祉大会を開催した。

日　　時	11 月 1 日　　午後 1 時 30 分～午後 4 時 20 分
場　　所	藤沢市民会館　小ホール
内　　容	第一部（式典）　「福祉功労者に対する表彰・感謝」 第二部（映画）　「さとにきたらええやん」 ～子どもも大人も安心できる“居場所とは”～
顕彰者数	①表彰 13 件[個人 12 名／団体 1 団体]（平成 28 年度：17 件） ②感謝　4 件[個人 2 名／団体 2 団体]（平成 28 年度：4 件）
来場者数	132 人（平成 28 年度：180 人）

2．地域の縁側事業

藤沢市が推進している「地域の縁側事業」について、市と協働で実施団体の募集及び審査・選考、選定団体の運営支援を実施するとともに、平成30年度に向けた新たな地域の縁側の制度設計についての検討を行った。平成29年度は新たに「基本型」3カ所、「特定型」5カ所、「基幹型」1か所の縁側が開設された。

（1）地域の縁側の募集及び開設状況

【平成29年度　新規開設】

種別	名　称	運営主体	地区	備　考
基本	鵠沼藤ヶ谷みんなの縁側	鵠沼藤ヶ谷みんなの縁側	鵠沼	市民の家活用
	こまよせランド	湘南大庭地区社会福祉協議会	湘南大庭	市民の家活用
	村岡テラス	社会福祉法人八寿会	村岡	法人拠点
特定	ふらっとガーデン	辻堂団地高齢者支援実行委員会	辻堂	集合住宅集会所活用
	むすびて	明治地区ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰむすびて	明治	自治会館・市民の家活用（高齢）
	グリーフケアサロン「わだち」 がんサロン「ちゃのま」	藤沢がんサポートコミュニティ	藤沢	法人拠点（がん患者、家族等）
	憩い場	憩い場	藤沢	法人拠点（高齢）
	カフェ「はまゆう」	藤沢世話焼きW.Coはまゆう	善行	法人拠点（高齢）
基幹	かるがも	社会福祉法人いきいき福祉会	明治	法人拠点

（2）支援事業

①制度設計等に関する支援

地域の縁側事業の運営状況に関する実績調査結果等に基づき、市と共に補助体系の在り方を検討するとともに同事業に関する調整を実施した。

②地域の縁側運営団体に対する支援

ア．準備検討段階の団体を含め、地域の縁側希望団体に対して、募集情報の提供や申請手続きの他、運営に関する支援のほか、新規開設の実施団体運営従事者に向けた研修を実施した。

イ．運営団体へは、開設後の運営全般の支援を行うとともに、運営従事者のほか地域の関係機関等が参加する交流会を兼ねた研修を藤沢市地域包括ケアシステム推進室と協働で実施したほか、情報交換会等の開催や専門職（保健師）の定期訪問による研修や相談会等を実施した。

【新規開設運営従事者等の研修】

区　分	平成29年度	平成28年度
開催回数	1回	5回
参加者数	16人	68人

【地域の縁側情報交換会】

区　　分	開催日	参加人数
北部ブロック （六会・湘南台・長後・御所見）	2月5日	63人
東部ブロック （藤沢東部・西部・村岡・善行）	2月8日	65人
南部ブロック （片瀬・鵠沼・辻堂）	2月9日	49人
西部ブロック （湘南大庭・明治・遠藤）	2月14日	44人

【専門職（保健師）による訪問・相談等】

区　分	平成29年度	平成28年度
訪問回数（延）	128回	103回
相談・講座等	38回・244件	26回・219件

ウ．地域の縁側における16歳以上65歳未満のボランティア活動者を対象としたボランティアポイントの付与による活動支援を行った。

区　分	平成29年度	平成28年度
登録団体	15団体	7団体
登録者数	55人	45人

3．社会福祉法人や民間企業等との地域貢献事業（新規）

（1）藤沢市地域公益事業推進法人協議会の設立

社会福祉法人の責務とされる「地域における公益的な取り組み」を、市内の社会福祉法人が協働して取り組んで行くことを目的とした協議体の設立に向けて、市社協が「準備会」「検討会」の事務局となり開催の支援をした。

①準備会の開催状況

開催状況	第1回（8月10日）　法人協議会の枠組みについて 第2回（9月21日　法人協議会の枠組みについて 第3回（10月19日）　法人協議会要綱について
委員構成 全11名	県高齢者福祉施設協議会藤沢地区福祉施設連絡会（3名） 藤沢障害福祉法人協議会（3名） 藤沢市民間保育園設置法人代表者会（2名） 児童養護施設関係（2名） 藤沢市社会福祉協議会（1名）

②検討会の開催状況

検討会の開催状況	第1回（12月21日）　具体的取り組み事業について 第2回（1月18日）　相談支援事業の枠組みについて 第3回（2月22日）　相談支援ネットワークについて
委員構成 全12名	県高齢者福祉施設協議会藤沢地区福祉施設連絡会（4名） 藤沢障害福祉法人協議会（3名） 藤沢市民間保育園設置法人代表者会（2名） 児童養護施設関係（2名） 藤沢市社会福祉協議会（1名）

（2）民間企業連携事業

経済的支援が必要なひとり親世帯の子どもの就学支援等を目的とする、アズビル山武財団「あすなろフレンドシップ就学支援制度」の実施にあたり、同財団、藤沢市、市社協の三者が連携に関する協定を締結し、市社協が支援金申請の相談・受付事務を担い制度の運営支援を行った。

申請件数		154件
内訳	高等学校進学者	81件
	中学校進学者	73件

【対　象】　藤沢市在住で児童扶養手当の全額給付認定者
※生活保護受給世帯は除く

【支給額】　平成30年4月に高校進学又は就職　5万円
平成30年4月に中学校進学　3万円

4．援護事業

低所得世帯等の福祉増進を図るため、各種援護事業を実施した。

（1）行旅人援護事業（市受託事業）

目的地まで移動中の旅費困窮者に対して、隣接市までの交通費を支給した。

区　分	平成29年度	平成28年度
支給人数	33人	36人
支給総額	7,000円	7,300円

（2）学童援護事業

低所得世帯の福祉増進を図るため、該当世帯の小・中学校入学児童に対して、祝金を支給した。

○祝金の支給（@10,000円）

		平成29年度	平成28年度
支給人数		17人	12人
内訳	小学生	2人	1人
	中学生	15人	11人
支給総額		170,000円	120,000円

（3）交通遺児援護事業

①県社協交通遺児援護基金事業により、該当世帯の中学校入学及び高校卒業の遺児に対して、激励金、見舞金を支給した。

○激励金の支給（@50,000 円）

区　分		平成 29 年度	平成 28 年度
支給人数		2 人	3 人
内訳	中学入学	2 人	1 人
	高校卒業	0 人	2 人
支給総額		100,000 円	150,000 円

○見舞金の支給（@100,000 円）　※新規登録時に支給

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
支給人数	1 人	※新規登録者なし
支給総額	100,000 円	ー　円

②市社協交通遺児援護事業により、小学校・中学校入学及び中学校・高校卒業の遺児に対して激励金の支給と、20 歳未満の遺児に対して図書カードを贈った。

○激励金の支給（@30,000 円）

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
支給人数	2 人	3 人
支給総額	60,000 円	90,000 円

○図書カードの支給（@10,000 円）

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
支給人数	9 人	9 人
支給総額	90,000 円	90,000 円

（4）年末たすけあい見舞金事業

民生委員・児童委員活動で把握された生活困窮世帯に対して、夏期・年末見舞金を支給した。

①夏期見舞金の支給（世帯@3,000 円）

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
支給世帯	108 世帯	116 世帯
支給総額	324,000 円	348,000 円

②年末見舞金（世帯@5,000 円　人員@3,000 円）

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
支給世帯	117 世帯	111 世帯
支給人員	267 人	260 人
支給総額	1,386,000 円	1,335,000 円

③地域活動支援センターⅢ型（@70,000円）

区　分	平成29年度	平成28年度
支給施設	8施設	10施設
支給総額	560,000円	700,000円

（5）災害援護事業

火災の罹災世帯に対して、見舞金を支給した。

○見舞金の支給

（全焼@20,000円・半焼@10,000円・死亡@15,000円・重症@10,000円）

区分	平成29年度	平成28年度
全　焼	2件／40,000円	2件／40,000円
半　焼	1件／10,000円	1件／10,000円
死　亡	0件／0円	3件／45,000円
重　症	0件／0円	0件／0円
支給総額	3件／50,000円	6件／95,000円

5．福祉人材養成事業

市内の福祉・介護人材の養成を図るため、社会福祉法人等と協働し介護職員初任者研修や就業支援研修、家庭介護知識習得のための家庭介護研修を実施した。

（1）家庭介護教室

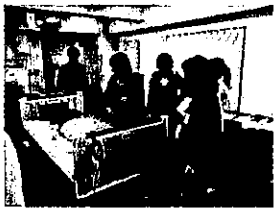
家族が認知症になった場合のコミュニケーションの取り方や、身体に無理のない介護術を学び、家族に介護が必要になった場合の備えとして、役立つ知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

開催日	3月21日
テーマ	知ってあんしん　家庭介護　～家族に介護が必要になったら～
講　師	田園調布学園大学　人間福祉学部　講師　竹田 幸司 氏
受講者数	11人（平成28年度：6人）
会　場	藤沢商工会館ミナパーク

（2）介護職員初任者研修事業

介護職員初任者研修を、市内の社会福祉法人や藤沢市等と協働で実施した。なお、児童養護施設等入・退所者及び生活困窮者等が受講しやすいよう配慮や支援を行った。

開催日	9月3日～3月4日（23日間）
受講者数	17人（平成28年度：16人） ※受講料免除対象者3人 ［児童養護施設1人・生活困窮2人］
修了者数	16人（平成28年度：14人）
協力法人	15法人（高齢・障がい）



（3）福祉・介護人材の就業支援研修事業

福祉・介護の資格を取得しても、福祉・介護サービスの仕事に従事していない潜在的な有資格者や、福祉に興味があり就業を希望する方を対象に、介護現場に生かせる知識や技術を確認する機会として講座を開催し、県社協かながわ福祉人材センターとの連携で同センター開催の地域就職相談会等の情報提供・周知を図った。

開催日	11月19日
内　容	講義：介護に活かせるコミュニケーション 実技：身体に負担のかからない新しい介護技術
講　師	田園調布学園大学 人間福祉学部 講師 竹田 幸司 氏
受講者数	16人（平成28年度：19人）

（4）介護予防・生活支援サービスの担い手養成（訪問型サービスＡヘルパー研修）

藤沢市介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスＡヘルパー養成のため、藤沢市・ふじさわ福祉ＮＰＯ法人連絡会が主催する養成研修に同連絡会の一員として事務局を務めた。

区　分	平成29年度	平成28年度
開催回数	4回	3回
受講人数	32人	68人

6．助成事業

地区社協やボランティアグループ等が進める地域福祉活動の振興や、地域福祉の増進に繋がると認められる事業に対して助成を行い、地域福祉活動の促進を図った。

（1）各地区社会福祉協議会連絡協議会への支援

地区社協相互の繋がりや、市社協と地区社協間の連携・協力を図ることを目的に活動する連絡協議会の活動の支援を行った。

①連絡協議会の開催実績　　※平成29年度より、地区民児協会長が連絡会の構成に加わる。

区分	開催日	内　　容	参加者数
第1回	7月13日	○平成28年度事業報告・決算 ○平成29年度事業計画・予算 ○平成28年度市社協事業報告	30人 ・地区社協会長 ・地区民児協会長
第2回	10月4日	○連絡協議会準備会について ○地域福祉活動計画における地域活動・取組について ○要望書の提出について	15人 ・地区社協会長
第3回	11月20日	○29年度市社協中間実績報告 ○地区社協における地域福祉活動計画の取組について	42人 ・地区社協会長 事務局長 ・地区民児協会長
第4回	2月21日	○地区社協における地域福祉活動計画の取組について ○活動事例の発表（湘南大庭地区）	16人 ・地区社協会長

（2）地区社会福祉協議会への活動費の助成事業

１４地区社会福祉協議会へ運営活動費の助成を行った。

【助成額】

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
助成総額	4, 820, 000 円	4, 820, 000 円

（3）愛の輪福祉基金助成事業（市受託事業）

藤沢市の愛の輪福祉基金補助金交付事業の申請等に関する手続きや審査会の運営を行った。

①区分別助成件数

区　　分	平成 29 年度		平成 28 年度	
	助成件数（件／事業）	金額	助成件数（件／事業）	金額
施設整備事業	1／1	300, 000 円	1／1	300, 000 円
地域交流・団体活動推進事業	15／25	1, 540, 000 円	15／25	1, 583, 000 円
ボランティア活動事業	23／23	1, 914, 000 円	21／21	1, 710, 000 円
地区社協活動事業	14／42	2, 485, 290 円	14／44	2, 314, 400 円
市老人クラブ連合会活動支援事業	109／109	1, 635, 000 円	107／107	1, 605, 000 円
その他市長が認める福祉事業	5／5	332, 000 円	4／4	334, 000 円
合　　計	167／205	8, 206, 290 円	162／202	7, 846, 400 円

②愛の輪審査委員会

【開催日】　第 1 回　7 月 14 日　　第 2 回　1 月 15 日

（4）地域福祉推進事業補助

市民への福祉意識の普及と地域福祉への関心を高めるため、地区社協等が実施する研修・講座や地域交流事業などに対して補助を行った。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
補助件数	13 団体／13 事業	14 団体／14 事業
補助総額	1, 770, 000 円	1, 850, 000 円

（5）地域福祉活動増進事業

市民団体が実施する地域福祉の増進を目的とした事業や活動に対し助成を行った。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
補助件数	5 団体／6 事業	7 団体／7 事業
補助総額	1, 588, 588 円	1, 895, 060 円

7．ボランティア活動推進事業

（1）ボランティアセンター運営事業

福祉ボランティアに関する相談、ボランティア等の養成、地区ボランティアとの情報交換等を行い、市民の福祉に関する理解やボランティア活動への参加促進及び活動を支援した。

①相談事業の実績

区　　分		平成29年度	平成28年度
登録	個　人（新規）	468人（236人）	419人（262人）
	団　体（新規）	142団体（30団体）	130団体（11団体）
相談等	ボランティアに関すること（延）	2,742件	2,797件
	その他（延）	544件	471件
	被災地支援に関すること（延）	37件	93件
	来所者数（延）	1,116件	1,061件
	マッチング数	307件	342件

②ボランティア等養成事業

ア．「ボランティア養成講座」を開催した。

開催日	10月28日
テーマ	ボランティアの魅力～みんなで福祉をデザイン～ ボランティア団体活動の紹介
講　師	田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科　講師　和　　秀俊　氏 ＜活動紹介の団体＞ 藤沢市点訳奉仕会、丸山谷戸援農クラブ、日本語で心をつなぐ会、NPOサポーターズ6人 ＜学生ボランティア＞　協力者5人 湘南高校定時制JRC部・藤沢西高校JRC部
受講者数	21人[年齢20～82歳]　（平成28年度：35人）

イ．「藤沢市精神保健ボランティア講座」を開催した。

開催日	9月2日・16日・30日、10月14日、11月11日　全5回
受講者数	36人　（平成28年度：14人）
備　考	座学の他、体験実習や精神保健関係事業所の見学ツアーを実施

ウ.「ボランティア交流会（講座)」を開催した。

開催日	3月24日
テーマ	ボランティアの意味や価値を再確認してみませんか？
講　師	日本ボランティアコーディネーター協会　三田　響子　氏 ゆめちゃん食堂　渡場　哲子　氏 村岡地区ボランティアセンターぬくもり　南部　久子　氏
受講者数	28人（平成28年度：23人）

③福祉講演会

開催日	3月3日
テーマ	社会的ひきこもりとは ～ひきこもりの基本的理解と対応～
講　師	筑波大学医学部医療系社会精神保健学 教授　精神科医師　斎藤　環　氏
受講者数	86人（平成28年度：37人）

④地区ボランティアセンターとの情報交流と連携

ア．市内ボランティアセンター連絡会の運営支援

【開 催 日】　11月24日

イ.「ボランティアコーディネーター講座」

開催日	平成30年2月3日
テーマ	事例から学ぼう！ボランティア活動中のリスク管理
講　師	(株)福祉保険サービス　斉藤　英樹　氏 損保ジャパン日本興亜損(株)　岸　智哲　氏
受講者数	30人（平成28年度：23人）

⑤藤沢市ボランティア連絡会の事務局運営

6月8日	総会
7月13日	ボランティアトークの会
9月24日	藤沢市民まつりへの参加
10月31日	ボランティア講演会
3月29日	ミニ講演会

⑥里親講座

神奈川県中央児童相談所が主催する里親講座への参加協力

開催日	2月3日
会　場	南保健センター

⑦福祉教育

小学生を対象に、福祉体験教室を老人福祉センターとの連携により実施した。また、市内中学校及び地域団体等の依頼により、車イス講習や高齢者疑似体験講習の講師として、福祉教育の推進を図った。

ア．福祉体験教室

開　催　日	7月27日、28日
受講者数（延）	13人（平成28年度：16人）

イ．車イス講習・高齢者疑似体験講習

実施回数	8回（平成28年度：7回）
実　施　先	六会中、湘洋中、高倉中、大庭中、睦愛園、湘南工科大、羽鳥小、湘南学園小

⑧ボランティア活動保険

ボランティア活動保険への加入手続きを行った。

区　分	平成29年度	平成28年度
一　　般	419件（2,991人）	304件（3,056人）
大規模災害	52件（　74人）	113件（　154人）

⑨広報活動

ア．ふじさわボランティアセンターが実施する講座の周知や、ボランティア活動に関する情報等の提供を行った。

ボランティアニュース	毎月10日、年間12回発行（発行部数：1,448部／1回）
メールマガジン	毎月20日、年間12回発行（登録者数：181人）

イ．辻堂海浜公園で行われた「春の公園まつり」に参加し、車イス・高齢者疑似体験ブースを開設するとともに、ボランティアセンターパンフレット等を配布しＰＲを行った。

【春の公園まつり】

開催日	5月28日
体験者数	102人（平成28年度：128人）

ウ．湘南藤沢シニアネット主催の「みんないきいき地域活動見本市」に参加し、ふじさわボランティアセンター及び老人福祉センターの普及啓発を図った。

【開催日】9月9日、2月10日

（2）車イス等貸出事業

①通院など、一時的に車イスが必要な方に対して、車イスの貸出をした。

区　分	平成29年度	平成28年度
件数（台数）	121件（345台）	119件（303台）

②学校と地域など体験学習のために、高齢者疑似体験セットの貸出をした。

区　分	平成29年度	平成28年度
件数（ｾｯﾄ数）	44件（270ｾｯﾄ）	39件（210ｾｯﾄ）

（3）災害ボランティア推進事業

藤沢市及び特定非営利活動法人藤沢災害救援ボランティアネットワーク（ＦＳＶ）との共催により「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を開催した。

①入門編

区　分	内　　容
開催日	7月30日
会　　場	村岡公民館
参加者数	18人（平成28年度：27人）

②入門編及び初級編

区　分	内　　容
開催日	2月24日
会　　場	村岡公民館
参加者数	18人（平成28年度：18人）

（4）いきいきパートナー事業（市受託事業）

ボランティアポイント制度により、高齢者によるボランティア活動を奨励・支援し、介護予防と地域活動の活性化を図った。

【対象者】６５歳以上の要支援、要介護認定を受けていない方

区　　分	平成29年度	平成28年度
登録者数 （新規登録）	632人 （93人）	600人 （150人）
登録施設数等 （新規登録）	101団体 （9団体）	93団体 （16団体）
説明会開催回数	4回	8回

（5）生活困窮者の自立支援関係事業

①市関係課及び関連団体からの情報提供または依頼を通じて市民から提供された特定の家電・家具等の寄付品を、様々な理由で生活困窮に陥った方へ提供し、生活の再建及び維持に向けた物的支援を実施した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
寄付品受入件数	47 件（282 品）	21 件（94 品）
寄付品引渡件数	67 件（293 品）	27 件（46 品）

②ノジマからの寄贈品

藤沢市を通じて、株式会社ノジマより寄贈を受けた冷蔵庫や電子レンジ、オーブントースター等、家電製品 503 点を、児童養護施設を退所して自立生活を始める若者や生活困窮家庭等に提供し、生活の自立や再建の支援を図った。

（6）農福連携事業

市（福祉部・経済部）、ＪＡさがみ、学習支援事業所、市社協の連携・協力により、農産物直売所「わいわい市」で、生産者から提供された売れ残りや出荷に至らない規格外品の野菜等を子どもの居場所（子ども食堂）や学習支援の団体に食材の支援として提供する「農福連携事業」への協力を行った。

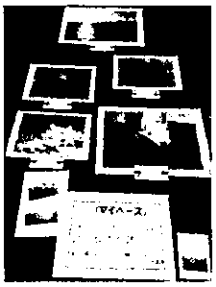
市社協は、わいわい市で提供された野菜等の食材の提供先の調整や配送ボランティアの手配等、一時保管場所や提供先への配送を実施した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
食材の引き取り・提供回数	30 回	18 回
活用（提供）団体数（延）	133 団体	64 団体
配送ボラティア登録数	3 人	2 人

（7）社会参加支援事業[試行事業]（新規）

引きこもりや生活困窮者等、地域で孤立しがちな方を対象に、ボランティア活動や就業体験など社会参加のきっかけづくりの場を提供した。

実利用人数		16 人
内訳	10 代	1 人
	20 代	6 人
	30 代	4 人
	40 代	3 人
	50 代	2 人



活動場所	自宅、社協会議室、社協売店、社協みんなの部屋、ボランティア先 民間施設、地域（ポスティング）　【延活動日数　43 日】
活動内容	啓発ティッシュづくり、資料修正、パソコン作業、花売店店員 音楽活動、絵画・写真活動、ﾘﾕｰｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等　【延活動回数　67 回】

（8）地域活動のリスク管理（新規）

地域団体の活動中の事故等に関する相談に対応できるよう、弁護士等とのアドバイザー契約の調整を行った。また、ボランティアコーディネーター講座において「事例から学ぼう！ ボランティア活動中のリスク管理」をテーマに、地区ボランティアセンター等での活動者を対象とした講義を行った。

8．資金貸付事業

失業者や障がいのある方、介護を必要とする高齢者のいる低所得世帯等に対して、生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、各種資金の貸付を実施した。

（1）生活福祉資金の貸付（県社協受託事業）

①総合支援資金の貸付

失業等で生活に困窮している世帯に対して、継続的な相談支援とあわせて、生活費及び一時的な資金の貸付の相談・支援を実施した。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
相談件数（延）	150 件	158 件
貸付件数	0 件	0 件
貸付総額	0 件	0 円

②福祉資金の貸付

低所得世帯や障がい者世帯等に対して、自立更生や生活の安定を図るための貸付の相談・支援を実施した。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
相談件数（延）	1,019 件	871 件
貸付件数	19 件	14 件
貸付総額	4,326,000 円	2,049,000 円

③教育支援資金の貸付

一定の所得以下の世帯に対して、学校教育法に定められた高等学校、大学などへの進学や通学に必要な経費の貸付の相談・支援を実施した。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
相談件（延）	3,938 件	4,041 件
貸付件数	80 件	81 件
貸付総額	41,373,000 円	41,766,000 円

④不動産担保型生活資金の貸付

高齢者世帯及び要保護高齢者世帯に対して、居住用不動産を担保とした生活資金の貸付の相談・支援を実施した。

区　分	平成29年度	平成28年度
相談件数（延）	226件	206件
貸付件数	3件	3件
貸付総額	39,070,000円	17,517,000円

（2）臨時特例つなぎ資金（県社協受託事業）

離職者を支援するための公的給付制度、または公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、当座の生活費の貸付の相談・支援を実施した。

区　分	平成29年度	平成28年度
相談件数(延)	12件	5件
貸付件数	0件	0件
貸付総額	0円	0円

（3）福祉資金の貸付

低所得世帯の福祉増進を図るため、生活に必要な小口資金の貸付を実施した。

区　分	平成29年度	平成28年度
貸付件数	442件	330件
貸付総額	6,372,000円	4,854,000円

（4）修学旅行費貸付事業

低所得世帯の福祉増進を図るため、中学校修学旅行費の貸付を実施した。

区　分	平成29年度	平成28年度
貸付件数	10校／20人	14校／40人
貸付総額	1,191,000円	2,288,000円

9．障がい福祉事業

障がい児・者やその家族を支援するために、一時預かり事業や就労支援事業等を実施した。

（1）一時預かりホーム運営事業

保護者の都合により、障がい児者を介護・援護することができない場合、保護者に代わり一時的に援助する一時預かり事業を実施した。

区　　分	平成29年度	平成28年度
登録者数（年齢層）	29人（3～35歳）	33人（2～39歳）
年間利用人数（延）	511人	666人

（2）地域活動ホーム運営事業

障がい児者や家族の生活支援を目的に、湘南台の地域活動ホームで放課後等の一時預かり事業を実施。

区　　分	平成29年度	平成28年度
登録者数(年齢層)	9人（22～41歳）	10人（9～40歳）
年間利用人数（延）	298人	269人

（3）就労支援売店運営事業

障がい者の就労を通じた社会参加の場として、市営斎場内の売店の運営を行い、その活動を通じて社会参加ができるよう支援した。

区　　分	平成29年度	平成28年度
運営体制（障がい者数）	6人（3人）	6人（3人）
運営日数	362日	362日

（4）藤沢市ふれあい実行委員会事業の支援

ふれあい実行委員会の事務局として、障がい者関係機関及び行政との協働により第３６回ふれあいステージを開催した。規約改正に伴い新規団体を迎えた16団体で構成された実行委員会は、小委員会との二部制となりステージの実施を進めた。

①ふれあい実行委員会（５回）

【開催日】　5月2日、9月20日、11月6日、12月9日、2月20日

②ふれあい実行委員会小委員会（2回）

【開催日】　6月12日、3月7日

③第３６回ふれあいステージの開催

開催日	12月9日
参加者数	797人（平成28年度：567人）
主な内容	＜メインコンサート＞ テツ and トモ ＜パフォーマンス＞ Music of Mind ※ &ぱふぉーまーまめ ＜オープニング演奏＞ 大庭中学校吹奏楽部 ＜休憩時間レクリエーション＞ キュンダンス ・即売コーナー 15団体 ※Music of Mind：市内の知的障がい者就労支援施設。音楽を就労の中心として活動。

１０．生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

（1）生活困窮者自立相談支援（バックアップふじさわ社協･コミュニティソーシャルワーカー）

生活困窮者自立相談支援窓口「バックアップふじさわ社協」の主任相談支援員が、貸付事業等の市社協内部の相談機能を活かした体制のもと個別相談支援を実施。今年度は、コミュニティソーシャルワーカーを現在の３地区（鵠沼・六会・湘南大庭）に加え、新たに村岡、長後の２地区に配置をし、計５地区のコミュニティソーシャルワーカーとバックアップふじさわ社協の専門相談員が連携しアウトリーチ型の相談支援に取り組んだ。

区　　分		平成 29 年度	平成 28 年度
相談件数（内自立相談支援プラン作成）		602 件（39 件）	347 件（16 件）
内訳	バックアップふじさわ社協相談支援員（内市社協内部の連携による相談）	138 件（79 件）	89 件（61 件）
	コミュニティソーシャルワーカー	464 件	258 件

（2）コミュニティソーシャルワーカーの相談支援・地域活動支援

区　　分			平成 29 年度	平成 28 年度
相談件数／延べ相談件数			525 件／10,077 件	310 件／1,961 件
内訳	生活困窮者自立支援相談		464 件	258 件
	その他の相談		61 件	52 件
	地区別	鵠沼	112 件	82 件
		六会	63 件	75 件
		湘南大庭	157 件	153 件
		村岡	113 件	－
		長後	80 件	－
地域活動への参加支援			597 件	479 件

１１．生活支援コーディネーター（第１層）事業（市受託事業）

住民同士のつながりや、様々な団体や社会資源も含めて、地域で支え合い、助け合い、健康的で安全・安心して地域で暮らし続けられる街づくりの推進を支援することを目指し、生活支援サービスの充実と利用支援を行った。

①生活支援サービス等の提供状況及び社会資源の把握

介護予防および生活支援サービス等を実施している団体・組織を訪問し、情報交換を行い、協議体で活用するための資料として、地域ごとの社会資源の白地図を作成した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
調査訪問回数	101 回	100 回

②資源開発（サービス・支援の担い手の養成）

高齢者等の個々の課題、ニーズにこたえられるシステムを構築するため、住民主体のサービスの担い手の養成に取り組んだ。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
講座・セミナーの開催支援	15 回	18 回

③ネットワーク構築のための各種会議の参加

全地区の小地域ケア会議にオブザーバーとして出席し、第２層生活支援コーディネーターとの定例会を開催。地域の各団体、組織等の会議にも出席し、協議体が効果的に機能するように努めた。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
参加回数	169 回	137 回

１２．あんしんセンター事業（権利擁護事業）

（１）日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

高齢者や知的に障がいのある方、精神に障がいのある方などで、判断能力が不十分な人が日常生活を送る上で、自ら福祉サービスの利用手続きや日々の金銭管理が十分にできない場合に、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「福祉サービス利用援助」「日常的金銭管理サービス」「書類等預かりサービス」による支援を実施した。

①相談問い合わせ件数

区　　分		平成 29 年度	平成 28 年度
件数合計		3,270 件	2,849 件
内訳	認知症高齢者	1,696 件	1,477 件
	知的障がい者	393 件	295 件
	精神障がい者	859 件	717 件
	身体障がい者	71 件	64 件
	そ　の　他	251 件	296 件

②新規利用相談人数

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
合　計	73 人	65 人

③契約件数

区　　分		平成29年度	平成28年度
合　計 (新規／継続)		104件 (27件／77件)	92件 (36件／56件)
内訳	認知症高齢者	57件	52件
	知的障がい者	10件	7件
	精神障がい者	26件	22件
	身体障がい者	2件	3件
	そ の 他	9件	8件

④終了件数

区分	平成29年度	平成28年度
終了件数	27件	15件
内　訳	・後見4件 ・本人申出9件 ・施設入所7件 ・死亡3件 ・市民後見3件 ・市外転居1件	・保佐人1件 ・本人申出9件 ・施設入所3件 ・死亡2件

（2）成年後見利用促進事業

成年後見制度の普及啓発事業を実施するとともに、制度に関する一般相談や定期専門相談の他、地域へ出張しての専門相談や地域における権利擁護のあり方について、地域関係機関との連携を図った。

①成年後見制度の普及啓発（年2回開催）

テーマ	市民講座～あなたの暮らしを守るために“知ってあんしん成年後見基本の「き」”～お話と相談会～
開催日 場　所	第1回：11月18日・鵠沼公民館 第2回：2月24日・長後公民館
講　　師	第1回：内島　純一　弁護士 第2回：松木　崇　　弁護士
相 談 会	第1回：弁護士4人 第2回：弁護士4人
参加者数	第1回：57人　うち相談会参加7組 第2回：53人　うち相談会参加7組

②成年後見制度の利用支援等

区　　分		平成29年度	平成28年度
一般相談件数（延）		468件	665件
内訳	高　齢　者	261件	403件
	知的障がい者	117件	63件
	精神障がい者	84件	191件
	身体障がい者	1件	4件
	そ　の　他	5件	4件
専門相談件数（延）		83件	70件
内訳	弁　護　士	28件	26件
	税　理　士	10件	6件
	司法書士	23件	21件
	行政書士	16件	12件
	社会福祉士	6件	5件

区　　分	平成29年度	平成28年度
出張専門相談会	16件	17件

平成29年度　出張相談会の開催状況

藤沢公民館　6月17日　5件（弁護士・社会福祉士）
片瀬市民センター　10月14日　5件（司法書士・行政書士）
村岡公民館　3月17日　6件（弁護士・社会福祉士）

③地域関係機関との連携

ア．藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会

権利擁護にかかる関係機関等の連携を深め、地域における権利擁護の在り方等について協議、研修した。

【開催回数】3回（6月29日、10月12日、2月1日）

（3）法人後見事業

法人後見業務については、市長申立により受任したケースや日常生活自立支援事業の利用者が判断能力低下により、法人後見に移行したケース等の生活支援や財産管理を実施した。

区　　分		平成29年度	平成28年度
受任件数		12件	10件
新規件数		3件	1件
内訳	後見	2件	0件
	保佐	0件	1件
	補助	1件	0件
終了件数		1件	1件

（4）日常生活自立支援事業契約締結審査会・法人後見業務適正審査会

それぞれの審査会は、審査事項等において関連があり、また法人後見業務適正審査会では、必要に応じあんしんセンターの運営に関して指導や助言等を求めることができることから、一体的運営を図るため同日に開催した。

区　　分	平成29年度	平成28年度
開　催　回　数	7回	6回
審査件数（延）	59件	47件
（内訳）日常生活自立支援事業	55件	45件
法人後見業務	4件	2件

（5）市民後見事業

①市民後見人フォローアップ研修

市民後見人候補者バンク登録者等の資質向上を目的として、新たに市民後見人フォローアップ研修を実施した。

区　　分	内　　容
開　催　日	3回（6月3日、9月2日、1月27日）
場　　所	藤沢市社会福祉協議会
参加者数（延）	20人

②後見人等受任調整会議等

市民後見人候補者バンク登録者を、後見人候補者として家庭裁判所に推薦するために市民後見人受任調整会議を開催した。

【受任調整会議の実績】

区　　分	平成29年度	平成28年度
開催回数	2回	1回
推薦者数	3人	1人

【市民後見人の活動実績】

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
総活動者数	4 人	1 人
年度末の活動者数	※2 人	1 人

※2 件終了によるもの

【市民後見人候補者バンク登録者数】

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
登録者数	7 人	8 人（内新規 3 人）

（6）権利擁護支援事業（新規）

権利擁護の立場から、成年後見制度の申し立てが必要な状況であるにもかかわらず、家庭環境、事務能力、経済的な理由から、家庭裁判所に申し立てることが難しい方に対して、申し立て手続きに関する支援及び費用の助成に向けた新たな制度を開始し、権利擁護ネットワーク連絡会委員を通じて事業の周知を図った。

１３．在宅福祉事業

（1）自主事業（ホームヘルプサービス）

介護保険制度や障害者総合支援制度、または市の生活支援型のホームヘルプサービスの対象とならない世帯（産褥期・母子・父子等を含む）や、これらの制度の対象であっても、制度の条件に該当しない支援を必要とする高齢者等の世帯に、ホームヘルパーを派遣し、家事援助等のサービス提供を実施した。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	23 人	36 人
派遣回数（延）	198 回	343 回
派遣時間（延）	118 時間	241.5 時間

（2）公的介護事業（ホームヘルプサービス）（市受託事業）

①生活支援型ホームヘルパー派遣事業

介護保険の要介護認定及び介護予防・日常生活支援総合事業の基本チェックリストにおいて非該当とされ、日常生活を営むのに支障のある 65 歳以上の在宅要援護高齢者等に、ホームヘルパーを派遣し、家事援助等のサービス提供を行い、要支援・要介護状態等への進行予防を図った。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	1 人	12 人
派遣回数（延）	49 回	330 回
派遣時間（延）	49 時間	330.5 時間

②ひとり親家庭日常生活支援事業

ひとり親家庭等を対象にホームヘルパーを派遣し、家事援助等のサービス提供を行い、在宅生活の支援をした。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	1 人	3 人
派遣回数（延）	48 回	59 回
派遣時間（延）	48 時間	67 時間

③家事・育児援助支援員派遣事業

育児等の支援が必要な家庭を対象にホームヘルパーを派遣し、家事援助等のサービス提供を行い在宅生活の支援をした。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	3 人	4 人
派遣回数（延）	68 回	115 回
派遣時間（延）	105 時間	144 時間

④精神障がい者地域移行体験利用事業

精神障がいのある方が、長期的な入院等から退院し、地域生活に戻る際の生活体験を支援した。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	2 人	0 人
派遣回数（延）	3 回	0 回
派遣時間（延）	3.5 時間	0 時間

（3）緊急通報システム事業（市受託事業）

６５才以上の高齢者等で、慢性疾患等により日常生活に不安がある方に緊急通報装置を設置することにより、自立した安全な在宅生活の支援をした。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	860 人	857 人
緊急通報件数	225 件	127 件
相談通報件数	88 件	140 件
安否確認件数	34,004 件	35,682 件
受信ｾﾝﾀｰ数	9 カ所	9 カ所
協力員登録数	687 人	624 人

（4）在宅福祉サービスセンター管理運営事業（市受託事業）

各種公的在宅福祉サービス事業等が、より市民の立場に立った利用しやすいものとなるよう、相談・調整等のコーディネート業務をするとともに、ケアマネジャー新任研修会等で各事業説明を実施した。

①寝具乾燥消毒サービス事業

６５才以上の寝たきり高齢者等に対し、寝具の丸洗い、消毒、乾燥のサービスを提供し、快適な日常生活の維持を図った。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	87 人	89 人
利用枚数（延）	1,478 枚	1,508 枚

②一時入所事業（ショートステイ）

６５才以上の高齢者を介護している家族が、疾病等により一時的に介護できないときに、施設において介護を実施した。

区	分	平成 29 年度	平成 28 年度
生活支援型	実利用者数	2 人	2 人
特 養	利用日数（延）	10 日	6 日
生活管理支援型	実利用者数	29 人	27 人
養 護	利用日数（延）	838 日	1,024 日

③紙おむつ支給事業

在宅において、寝たきりや認知症等のため常時おむつ使用が必要な要介護４以上の認定を受けた 40 才以上の方（本人合計所得 400 万円未満の方）、及び要支援１から要介護３までの認定を受けた市民税非課税世帯の 65 才以上の高齢者に対して、紙おむつを支給し、経済的負担及び介護負担の軽減を図った。また、平成 30 年度から商品の組合せを自由とした。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	1,022 人	1,082 人
支給件数(延)	8,638 件	9,322 枚

④徘徊高齢者対策事業

徘徊高齢者の早期発見と保護を目的として、警察、消防署、タクシー協議会等の関係機関と連携を取りながら捜索を行い、特別養護老人ホームで一時保護することにより、徘徊高齢者の生命の安全を図った。

区　　分	平成29年度	平成28年度
実登録者数	205人	185人
通報件数	9件	1件
位置情報提供事業利用者数	10人	11人

⑤在宅福祉サービス等の相談・調整

区　分	平成29年度	平成28年度
相談・調整のみ実件数	286件	332件

（5）高齢者給食サービス事業（市受託事業）

自分で食事の支度が困難な方で、近隣に食事の世話をしてくれる人がいない65歳以上の高齢者等に、市内の特別養護老人ホーム等で調理した食事を配達するとともに、安否確認をする給食サービスを365日体制で実施し、安心で健康的な生活を支援した。

また、平成30年度の事業終結に向けて、市と検討、調整等を行った。

区　　分	平成29年度	平成28年度
実利用者数	190人	231人
配食数（延） （内特別食数）	20,413食 (5,567食)	24,876食 (5,851食)
緊急対応件数	206件	201件
配食センター数	6カ所	6カ所
協力員登録数	22人	22人

１４．老人福祉センター運営事業（指定管理事業）

いきいきシニアセンター（藤沢市老人福祉センター）の指定管理者として、３センターの施設維持管理をおこなうとともに、生きがい対策事業等を実施した。

藤沢市が目指す「健康寿命日本一」を進めるため、「健康づくり運動講座」、「ふまねっと運動講座」「表現体操」「音楽体操」などの健康講座を実施するとともに、「コグニサイズ」、「ファイブコグテスト」「健康測定」など、介護予防につながる事業や、湘南なぎさ荘・こぶし荘では運動浴槽（プール）を使用した「アクアビクス入門講座」や「アクアビクス開放レッスン」を実施した。

【利用者数（延）】※運営日数 304 日

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
やすらぎ荘	72,938 人	72,554 人
湘南なぎさ荘	89,699 人	76,828 人
こぶし荘	136,003 人	132,577 人
合　　計	298,640 人	281,959 人

【健康相談利用者数（延）】（看護師等の相談：原則毎日／医師の相談：月 2 日）

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
やすらぎ荘	9,280 人	8,704 人
湘南なぎさ荘	10,243 人	9,779 人
こぶし荘	9,097 人	9,428 人
合　　計	28,620 人	27,911 人

【事業回数・参加者数（延）】

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
やすらぎ荘	141 回 ／ 5,744 人	142 回 ／ 6,204 人
湘南なぎさ荘	303 回 ／ 9,195 人	246 回 ／ 7,711 人
こぶし荘	214 回 ／ 12,149 人	187 回 ／11,927 人
合　　計	658 回 ／ 27,088 人	578 回 ／25,842 人

【風呂利用者数（延）】

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
やすらぎ荘	24,739 人	25,054 人
湘南なぎさ荘	24,799 人	18,572 人
こぶし荘	39,519 人	40,945 人
合　　計	89,057 人	84,571 人

【運動浴室利用者数（延）】※やすらぎ荘は、運動浴室設備無し

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
湘南なぎさ荘	9,519 人	10,363 人
こぶし荘	23,850 人	24,605 人
合　　計	33,369 人	34,968 人

１５．居宅介護等事業

介護保険制度に基づいた、居宅介護支援及び訪問介護等を実施した。

（1）居宅介護支援事業

要介護者及び要支援者からの依頼により、日常生活を営むのに必要な福祉サービス等を適切に利用できるよう、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、居宅サービス事業者との連絡調整等を実施した。

①居宅介護支援事業

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	21 人	24 人
ケアプラン作成件数（延） （月平均件数）	198 件 （17 件）	256 件 （22 件）

②介護予防ケアマネジメント事業（受託分）

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	4 人	8 人
ケアプラン作成件数（延） （月平均件数）	48 件 （4 件）	75 件 （7 件）

（2）要介護認定訪問調査事業（市受託事業）

市からの受託により、介護保険の要介護認定訪問調査を実施した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
調査件数（延）	58 件	108 件

（3）訪問介護事業

①介護給付対象者である高齢者等の家庭にホームヘルパーを派遣し、食事、排泄、入浴等の身体介護と炊事、洗濯、掃除等の生活援助のサービスを実施した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	111 人	135 人
派遣回数（延）	8,587 回	10,685 回
派遣時間（延）	9,195.25 時間	11,415.50 時間

②介護予防訪問型サービス対象者等（要支援１，２・事業対象者）の家庭にホームヘルパーを派遣し、食事、排泄等の生活活動の支援を行い、生活機能の低下防止を実施した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	164 人	153 人
派遣回数（延）	8,114 回	8,706 回
派遣時間（延）	7,591 時間	8,533.5 時間

１６．障がい者総合支援事業

障害者総合支援法に基づいた、居宅介護の障がい福祉サービスを実施した。また、障がい福祉サービス計画の作成や生活全般の相談支援を実施した。

（1）居宅介護等事業

障がい児者等にホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助等の支援や視覚障がい者への外出活動等の支援を実施した。

①居宅介護事業・重度訪問介護事業・同行援護事業

障がい児者等に対して、ホームヘルパーを派遣し、食事、排泄、入浴等の身体介護と、炊事、洗濯、掃除等の家事援助、また生活等に関する相談及び助言、並びに通院時における移動の介助等のサービス提供を実施した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	191 人	187 人
派遣回数（延）	14,619 回	15,094 回
派遣時間（延）	18,001.8 時間	18,425 時間

②移動支援事業

屋外での移動に困難がある障がい児者の外出及び、地域での自立生活や社会参加の支援を実施した。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
実利用者数	49 人	51 人
派遣回数（延）	1,479 回	1,721 回
派遣時間（延）	1,656.5 時間	1,851 時間

（2）相談支援事業

指定特定相談支援事業者として、障がい福祉サービス利用等についての相談やサービス利用計画の作成や障がい者支援区分認定調査等の支援を実施した。

区　　分	平成29年度	平成28年度
実利用者数	85人	70人
調査件数（延）	42件	57件
相談・調整のみ件数	20件	17件

１７．寄附金品の状況

区　　分			平成29年度	平成28年度
一般	個人	件数	11件	12件
		金額	1,071,000円	41,086,000円
	団体	件数	5件	11件
		金額	356,599円	485,056円
善意銀行	団体	件数	2件	3件
		金額	104,233円	97,448円
物品	団体	件数	9件	5件
		内容	車いす・Bookｶｰﾄﾞ・ﾀｵﾙ・落語会ﾁｹｯﾄ 他	車いす・ｸｵｶｰﾄﾞ 落語入場券　他

１８．会の運営

（1）会員加入と会費の状況

区　　分	平成29年度	平成28年度
正会員(@1,000円)	607件　／　851,000円	602件　／　869,000円
賛助会員(@1,000円)	140件　／　587,000円	121件　／　559,000円
地　区　社　協	14地区　／　850,000円	14地区　／　850,000円
合　　計	761件　／2,288,000円	737件　／2,278,000円

（2）理事会の開催（5回）

区　　分	議　　題
第1回 (5.26)	・平成28年度事業報告並びに決算について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会経理規程の全部改正について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
第2回 (6.13)	・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会会長の選任について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会副会長の選定について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会常務理事の選定について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会顧問について
第3回 (10. 4)	・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会被表彰者について
第4回 (11.30)	・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・平成29年度事業中間報告について（報告）
第5回 (3.20)	・平成29年度資金収支補正予算（第1号）について ・福祉資金貸付事業における借受人の返済免除について ・平成30年度事業計画並びに資金収支予算について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会評議員会の招集について ・藤沢市地域公益事業推進法人協議会について（報告） ・その他（報告）

（3）評議員会（2回）

区　　分	議　　題
第1回 (6.13) 定時評議員会	・平成28年度事業報告並びに決算について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会理事の選任について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会監事の選任について
第2回 (3.28)	・平成29年度資金収支補正予算（第1号）について ・平成30年度事業計画並びに資金収支予算について ・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会理事の選任について ・藤沢市地域公益事業推進法人協議会について（報告）

（4）監事監査（1回）

監事監査　5月13日

（5）正副会長会（3回）

5月19日・9月27日・3月13日

（6）業務執行に伴う各種委員会等

①愛の輪福祉基金審査委員会

②日常生活自立支援事業契約締結審査会

③法人後見業務適正審査会

④藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会

１９．その他の実績

（1）外部委員会等への参加実績

市の「地域福祉計画推進委員会」や県社協の「市町村社協部会会長・事務局長会」など、各種委員会や会議体等への参加協力を行った。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
会議・委員会等の数	118	80
参加回数／人数（延）	402 回／643 人	304 回／476 人

（2）職員派遣の実績

市の「福祉健康部新任者研修」や民生委員・児童委員協議会「新任者研修」など、他団体等からの依頼により職員を講師として派遣した。

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
派遣回数	23 回	20 回
派遣職員数	42 人	37 人

（3）各種研修参加の実績

職員の資質向上やスキルアップを図るために県社協が開催する「新任職員研修」や市が主催する「情報公開制度研修」など、各種研修へ参加をした。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
参加した研修の数	71 研修	32 研修
参加職員数（延）	123 人	106 人

（4）実習生受入の実績

看護専門学校生徒の実習受入や、大学生のインターンシップ、中学生の職場体験など実習生の受入を行った。

区　　分	平成 29 年度	平成 28 年度
受入件数	14 件	13 件
受入人数（延）	185 人	192 人

２０．団体業務

（1）日本赤十字社神奈川県支部藤沢市地区事務局

①日本赤十字社社員増強運動の実績

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
目　標　額	29,458,000 円	29,458,000 円
実　績　額	21,438,630 円	21,366,234 円

②火災等の災害見舞金の支給実績

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
全　　焼	2 件 ／ 20,000 円	2 件 ／ 20,000 円
半　　焼	1 件 ／ 5,000 円	1 件 ／ 5,000 円
水　　損	1 件 ／ 5,000 円	1 件 ／ 5,000 円

③地域の自主防災活動への助成事業

区　分	平成 29 年度	平成 28 年度
助成件数	14 団体・14 事業	14 団体・14 事業
助成総額	1,500,000 円	1,500,000 円

④水上安全法救急員Ⅱ養成講座

開催日	6 月 7 日・8 日・9 日
会　場	江の島ヨットハーバー・東浜海岸
受講者数	7 人（平成 28 年度：16 人）

（2）神奈川県日赤紺受有功会藤沢支会事務局

赤十字事業の進展に寄与するため事務局を担当した。

（3）神奈川県共同募金会藤沢市支会事務局

①共同募金運動の実績

区　　分		平成 29 年度	平成 28 年度
赤い羽根募金	目標額	32,860,000 円	32,820,000 円
	実績額	26,096,820 円	26,750,343 円
年末たすけあい募金	目標額	12,000,000 円	12,000,000 円
	実績額	12,376,817 円	12,608,593 円
実　績　合　計　額		38,473,637 円	39,358,936 円

②第４１回神奈川県福祉作文コンクール地区審査会の開催

・応募校数　小学校の部（3 校 3 編）／中学校の（7 校 33 編）

（4）藤沢市遺族会事務局

戦没者慰霊祭や研修会等の各種事業を実施した。

①各種委員会の開催

・理事会　　3回

・常任理事会　　1回

②主な行事等の開催や参加

・創立記念70周年記念事業（会員名簿の作成、パネル展、記念誌の発行準備）

・藤沢市遺族会戦没者慰霊祭の開催（遊行寺）

・遺族会研修（大山慰霊大祭、靖国神社参拝）の開催

・全国、神奈川県、藤沢市戦没者追悼式に参列

（5）藤沢市更生保護女性会事務局

更生保護活動推進のため事務局を担当した。

①各種委員会等の開催

・役員会　　12回

・理事会　　10回

・広報委員会　　2回

②主な行事等の開催や参加

・社会を明るくする運動街頭キャンペーンへの参加（藤沢駅北口サンパール広場）

・社会貢献活動の実施（3回、海岸清掃）

・理事研修（多摩少年院視察）の開催

（6）藤沢市地区社会福祉協議会連絡協議会事務局

各地区社協相互間及び市社協との連携・協力のため事務局を担当した。（別掲）

（7）藤沢市障がい者共同受注促進協議会

生産活動等をおこなう障がい者事業所が共同で受注を図るため事務局を担当した。

①共同受注作業依頼の実績

平成29年度	平成28年度
11件	10件

（8）藤沢市ふれあい実行委員会事務局

ふれあいステージの開催支援を行うための事務局を担当した。（別掲）

（9）支えあう地域づくり推進連絡会事務局

地域福祉の関係者が連携し地域福祉の推進に向けて、情報の共有や意見交換を行う連絡会の事務局として会の運営を担った。設立初年度は、参加団体が互いの団体プロフィールや活動課題等についての情報交換を行った。